



Contents

**トップメッセージ**／代表取締役社長 岩城 修

～グループとしての「つよみ」を伸ばし、強固な事業基盤を構築してまいります。～ …P1

セグメント別の概況 …P5

**小さな社会貢献活動への取り組み** …P7

**機関投資家向け決算説明会の実施** …P7

連結財務諸表 …P8

会社情報 / 株主メモ …P9

**株主様アンケート** …P10

株式情報 …裏表紙

**イワキ株式会社**

証券コード：8095

■ 経営の基本方針 ■

当社グループは、  
社業を通じ社会に貢献することに  
誇りと喜びを持ち、  
「お客様(社会)を大切に思う心を常に忘れない会社」  
を目指し、  
提供する商品・サービスを通じ、  
お客様と常に「感謝し、感謝される関係」を築き、  
共存共栄することによって、  
顧客企業の発展と  
株主の利益拡大に寄与するとともに、  
社会その他すべての関係者への  
責任を果たし続けることを  
経営の基本方針としております。

表紙の写真について



— アマサギ —

水元公園(東京都葛飾区)

表紙の写真は、川嶋次男様(東京都葛飾区在住)の  
作品をご提供いただきました。

## グループとしての 強固な事業基盤を

■ イワキ・グループの事業概要と特色 ■

開発・製造から販売まで、原料から製品  
までの幅広い事業活動が特色です。

1914年7月に医薬品卸商として創業した当社は、  
100年の歩みの中で業容を拡大し、現在では「医薬品」  
「医薬品原料・化粧品原料」「化成品」「食品原料・機能  
性食品」の4分野にわたるグループ事業を展開してい  
ます。卸売業である当社の傘下に製造子会社を有し、  
研究開発・製造から販売までの業務と、原料から製品  
までの取扱いによる幅広い活動を行っている点が、当  
社グループの特色です。

グループ社員は、社業を通じ社会に貢献することに  
誇りと喜びを持って取り組み、「世のため人のため、お  
客様の喜ぶ顔がみたいから働く」という企業姿勢を保  
持しています。

● 事業セグメントとグループ機能

事業セグメント構成を当期の連結売上高における割  
合で見ると、医薬品事業が32.2%と最も多くを占め、  
以下医薬品原料・化粧品原料事業が31.1%、化成品事  
業と食品原料・機能性食品事業がともに14.9%、その  
他の事業が6.9%となっています。

## 「つよみ」を伸ばし、 構築してまいります。

医薬品事業では、一般用・医療用医薬品の製造およ  
び卸売の他、動物用・体外診断用医薬品と研究用試薬  
の卸売や、調剤薬局の運営を行っています。

医薬品原料・化粧品原料事業では、医薬品原料・香  
粧品原料の製造・輸入・販売に加え、化粧品のOEM企画  
開発も行っています。

化成品事業では、電子工業薬品、表面処理薬品、医  
薬中間体などを製造・販売しています。

食品原料・機能性食品事業では、天然調味料、乾燥  
野菜、乳製品などの食品原料を輸入・販売し、天然調  
味料は開発・製造も行っています。また、サプリメント  
のOEM企画開発や原料販売を行っています。

以上の他、医療機器などの販売、プリント配線板な  
どの製造プラントの製造・販売、化粧品の通信販売な  
どを、その他の事業としています。

■ 当期の連結業績を振り返って ■

全事業セグメントで増収を果たしました。

当期の国内景気は、緩やかな回復基調を辿ったもの  
の、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、



代表取締役社長 岩城 修

円安による輸入原料価格の高騰などにより、先行き不透明な環境となりました。その中で当社グループは「事業基盤・事業規模の強化、拡大」と「収益構造の改善」をテーマに、海外サプライヤーとの連携を強め、自社企画による商品開発と、安定供給体制の確保に向けた設備投資を進めてまいりました。

医薬品事業は、医療用医薬品におけるジェネリック医薬品の需要拡大に対応し、原料の複数社購買と生産設備の稼働率向上に努めました。MR活動では、医療機関・調剤薬局への情報提供活動により、特にアトピー性皮膚炎治療薬や尋常性乾癬治療薬の新規採用先が増加し、売上を大きく伸ばしました。一般用医薬品および関連商品は、新規取扱商品の開拓に努めつつ、大手ドラッグストアや量販店向けにPB商品の企画提案を推進し、販売を順調に拡大しました。

医薬品原料・化粧品原料事業は、医療用医薬品原料の主力である解熱鎮痛剤原料が低調となったものの、合成抗菌剤原料等のジェネリック医薬品原料は好調を維持しました。一般用医薬品原料は、血管収縮剤原料の海外シェア拡大に向けて情報収集・提案活動を行い、東南アジア・南米向けの販売を伸ばしました。化粧品分野は、主力原料の新規採用が増加し、受託原料も伸長しました。

化成事業は、新製品の高密度パッケージ基盤向け薬品の拡販に努める一方、海外製造拠点の生産拡大を

図りました。国内はプリント配線板向け薬品、チップ部品向け薬品が伸びましたが、海外はスマートフォン・タブレット端末の成長鈍化による影響を受けました。化学品原料は、表面処理薬品原料の落ち込みや輸入原料の価格高騰により、低調に推移しました。

食品原料・機能性食品事業は、農産加工品の販売が拡大し、糖化製品の新規拡販が一定の成果を上げました。サプリメント原料は、美容・エイジングケアや健康維持を訴求した提案に努め、自社および製造受託会社における新規原料採用などの成果が得られましたが、既存原料は伸び悩みました。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高541億4千5百万円（前期比3.2%増）、営業利益8億9千万円（同11.6%減）、経常利益9億7千1百万円（同15.9%減）、当期純利益5億5百万円（同33.1%減）となりました。全事業セグメントの増収により、売上高は期初予想値を上回りましたが、当期より連結対象となった在外子会社を含めた販売費及び一般管理費の増加を受け、利益面は計画未達となりました。

次期の見通しと具体的な取り組み

重点事業領域の拡大と生産性の向上、海外拠点の整備を進めていきます。

次期の事業環境は、緩やかな景況回復の持続が期待されるものの、欧州や新興国の経済動向や為替市場の変動などが懸念要素となっています。その中で当社グループは、重点事業領域の拡大と生産性の向上、海外拠点の整備に注力していく考えです。

医薬品事業は、医療用医薬品の主力製品である外用剤の大幅増産とともに、調剤薬局やDPC（急性期入院の包括支払制度）病院への情報提供活動を推進します。一般用医薬品は、新規商品の開拓と自社商品の企画・開発に取り組んでいきます。

医薬品原料・化粧品原料事業は、ジェネリック医薬品原料における自社原料・輸入医薬品原料の開発を進めながら、長期収載品の製造受託の提案を強化します。化粧品原料は、海外販売に力を入れ、主力顧客の新規採用品目と受託加工品目を拡大します。

化成事業は、プリント配線板向け薬品・チップ部品向け薬品などの新製品開発に力を入れ、海外製造拠点の充実と営業強化を図ります。輸入化学品原料は、酢酸類・特殊溶剤の新規顧客を獲得していきます。

食品原料・機能性食品事業は、食品原料における有力仕入先の新製品投入、農産加工品の新規仕入先開拓、関連会社や海外メーカーとの新製品開発など、新規商材を拡充します。機能性食品は、2015年春に導入が予定される食品の新たな機能性表示制度を機に、原料

の提案や情報提供をさらに積極化していきます。

これらの取り組みをもとに、次期の連結業績は、売上高530億円、営業利益9億円、経常利益9億5千万円、当期純利益6億円の達成を目指します。

株主の皆様への利益還元

年間配当額は前期比1円50銭増配、連結配当性向は50.1%となりました。

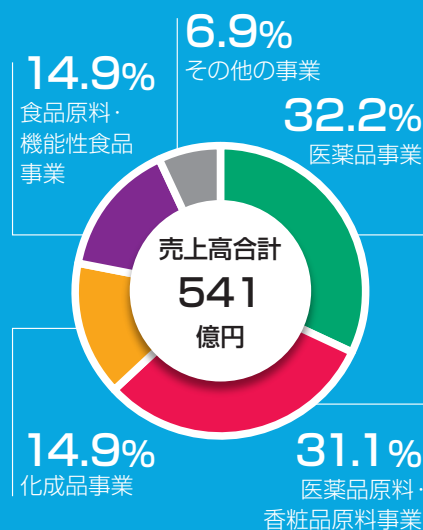
株主の皆様への利益還元については、将来にわたる経営基盤の強化と収益の向上を図りつつ、安定的かつ継続的な成果の配分を行うことを基本方針としております。これに基づき、当期の期末配当は1株当たり3円（前期同額）とさせていただきます。中間配当と合わせた年間配当額は創業100周年の記念配当を含め同7円50銭（前期比1円50銭増配）、連結配当性向は50.1%となりました。

当社グループは、優れた商品・サービスの提供を通じて、より多くの社会的貢献を果たすべく、自らの「つよみ」を伸ばし、強固な事業基盤を構築してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## セグメント別の概況

当社グループは、医療用医薬品・一般用医薬品の製造および卸売、動物用医薬品・体外診断用医薬品・研究用試薬の卸売、保険薬局の経営、医薬品原料・化粧品原料・電子工業薬品・表面処理薬品・化成品・食品原料・プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売、表面処理薬品原料等・サプリメント原料の販売等の事業活動を展開しております。

### ■ 売上高構成比 (2014年11月期)



## 医薬品事業

### ■ 事業内容

医薬品の製造・販売、およびバイオ関連製品などの販売を行っております。

### ■ 事業会社

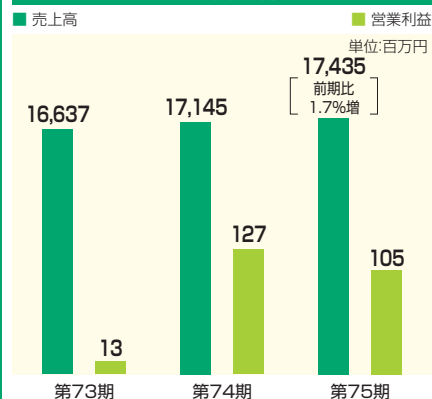
- イワキ(株)
- 岩城製薬(株)
- ホクヤク(株)
- (株)エイ・エム・アイ
- (株)パートナー・メディカル・システムズ



### ● 当期のポイント

- 医療用医薬品は、外皮用剤が大幅に伸長。緩下剤、受託品、新発売品も順調に推移。
- ドラッグストア向け商品は、新規取扱商品や自社企画品が順調に拡大したものの、全体としては堅調に推移。

### 売上高および営業利益の推移



## 医薬品原料・化粧品原料事業

### ■ 事業内容

医薬品原料および化粧品原料の製造・販売を行っております。

### ■ 事業会社

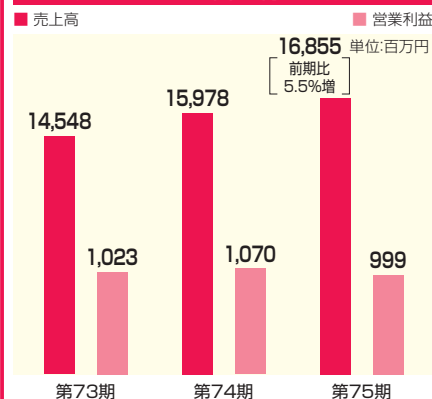
- イワキ(株)
- 岩城製薬(株)



### ● 当期のポイント

- 医療用医薬品原料は、ジェネリック医薬品向け原料が好調に推移。
- 一般用医薬品原料は、主力の血管収縮剤原料が海外向けで伸長。
- 化粧品原料は、主力原料の新規採用、受託原料の伸長もあり全体としては好調に推移。

### 売上高および営業利益の推移



## 化成品事業

### ■ 事業内容

表面処理薬品の製造・販売、化学品原料および樹脂添加剤などの販売を行っております。

### ■ 事業会社

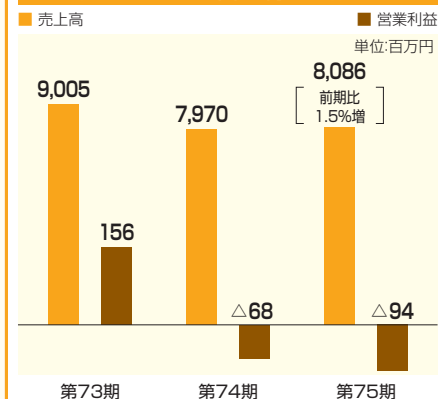
- イワキ(株)
- 岩城製薬(株)
- メルテックス(株)



### ● 当期のポイント

- プリント配線板向け薬品は、国内で好調に推移、海外で低調に推移。
- チップ部品向け薬品は、国内で好調に推移、海外で堅調に推移。
- 化学品原料は、酢酸類が好調に推移したものの、全体としては低調に推移。

### 売上高および営業利益の推移



## 食品原料・機能性食品事業

### ■ 事業内容

食品原料およびサプリメント原料などの製造・販売を行っております。

### ■ 事業会社

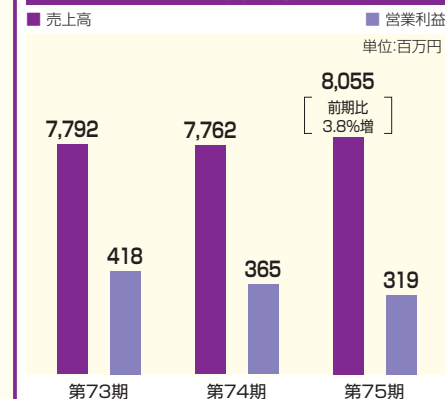
- イワキ(株)
- ポーエン化成(株)



### ● 当期のポイント

- 食品原料は、関連会社製品の提案、農産加工品、天然調味料、国内仕入品の拡販に努めたものの、全体としては低調に推移。
- サプリメント原料は、美容・エイジングケアを訴求する原料の拡販に努めたものの、全体としては低調に推移。

### 売上高および営業利益の推移



## その他の事業

### ■ 事業内容

当社グループは、医療機器の販売など、幅広い事業を展開しています。

### ■ 事業会社

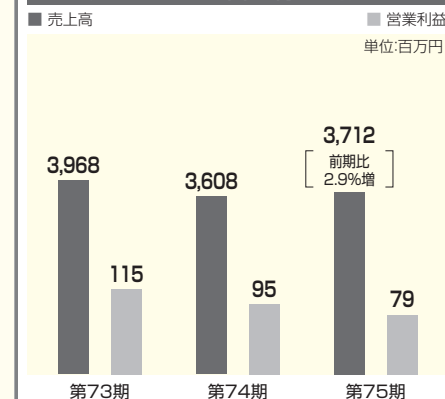
- メルテックス(株)
- 東京化工機(株)
- アプロス(株)



### ● 当期のポイント

- 当事業全体の売上高は37億1千2百万円(前期比2.9%増)、営業利益は7千9百万円(同16.6%減)。

### 売上高および営業利益の推移



## 小さな社会貢献活動への取り組み

### 赤い羽根共同募金

2015年4月に入社予定の内定者が、本社および街頭にて「赤い羽根共同募金」の呼びかけをいたしました。時折小雨がぱらつく中での募金活動となりましたが、雨にも負けず精力的に募金を呼びかけました。



### 献血活動



#### ◆日本赤十字社より「銀杯 支部長感謝状」を受章いたしました

2014年10月15日、東京都赤十字大会におきまして、日本赤十字社より「銀杯 支部長感謝状」を頂きました。当感謝状は、日本赤十字社の活動に協力している企業や団体、個人に贈られるもので、当社の献血活動が評価されました。

当社は、2005年12月より企業献血を実施し、献血協力者は延べ500人を超えました。現在は年数回、定期的に行っております。

## 機関投資家向け決算説明会の実施

#### ◆当社グループをより知ってもらうために

当社グループへの理解を深めていただき、適正な株価形成による企業価値向上を図ることを目的として、機関投資家・アナリストの方などを対象に決算説明会を定期的に実施しております。

当方も日本証券アナリスト協会（東京都中央区）において2回開催いたしました。当日は連結業績の概況や今後の戦略などを説明し、ご来場いただいた皆様から幅広くご質問を頂戴いたしました。今後もこのような説明会を精力的に続けてまいります。



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前期末 2013年11月30日現在	当期末 2014年11月30日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	25,034	27,266	2,232
固定資産	12,644	12,449	△194
資産合計	37,678	39,716	2,037
<b>負債の部</b>			
流動負債	17,059	18,633	1,573
固定負債	3,737	3,703	△34
負債合計	20,797	22,336	1,538
<b>純資産の部</b>			
株主資本	16,163	16,353	189
その他の包括利益累計額	717	1,026	308
純資産合計	16,881	17,379	498
負債・純資産合計	37,678	39,716	2,037

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 1 資産合計

資産合計は前期末比2,037百万円増の39,716百万円となりました。総資産の増加の主な理由は、現金及び預金の増加506百万円、電子記録債権の増加960百万円によるものです。

#### 2 負債合計

負債合計は前期末比1,538百万円増の22,336百万円となりました。負債合計の増加の主な理由は、短期借入金が増加1,072百万円によるものです。

#### 3 純資産合計

純資産合計は前期末比498百万円増の17,379百万円となりました。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の増加192百万円、為替換算調整勘定の増加180百万円によるものです。

#### 4 売上高

売上高は医療用医薬品では、アトピー性皮膚炎治療薬や尋常性乾癬治療薬が大幅に伸長しました。医薬品原料・化粧品原料事業では、主力の血管収縮剤が東南アジア・南米向けの販売で伸長し、前期比3.2%増の54,145百万円となりました。

#### 5 営業利益・経常利益

売上高、売上総利益は前期より増加しましたが、連結対象となった存外子会社を含めた販売費及び一般管理費の増加を受け、営業利益は前期比11.6%減の890百万円、経常利益は前期比15.9%減の971百万円となりました。

#### 6 当期純利益

特別損失として減損損失の計上などがあり、当期純利益は前期比33.1%減の505百万円となりました。

### 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前期 2013年12月1日から 2013年11月30日まで	当期 2013年12月1日から 2014年11月30日まで	増減額
売上高	52,465	54,145	1,679
営業利益	1,007	890	△117
経常利益	1,154	971	△183
税金等調整前当期純利益	1,166	957	△209
法人税、住民税及び事業税	448	464	16
法人税等調整額	△36	△12	24
少数株主損益調整前当期純利益	754	505	△249
当期純利益	754	505	△249

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社情報 (2014年11月30日現在)

### ● 会社概要

社名	イワキ株式会社	
本社所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号	
創業	1914年(大正3年)7月10日	
設立	1941年(昭和16年)9月20日	
資本金	25億72百万円(東証1部上場)	
社員数	266名	
主な事業内容	<b>医薬品事業</b> 医療用医薬品・一般用医薬品の製造および卸売 動物用医薬品・体外診断用医薬品・研究用試薬の卸売 保険薬局の経営 <b>医薬品原料・化粧品原料事業</b> 医薬品原料・化粧品原料の製造および販売 化粧品OEM製造受託 <b>化成事業</b> 電子工業薬品・表面処理薬品・化成品の製造および販売 表面処理薬品原料等の販売 <b>食品原料・機能性食品事業</b> 食品原料の製造および販売 サプリメント原料の販売 サプリメントOEM製造受託 その他の事業 医療機器等の販売 プリント配線板等の製造プラントの製造および販売 化粧品の製造および販売	
主な事業所所在地	大阪支社	大阪府大阪市
	富山支店	富山県富山市
	名古屋支店	愛知県名古屋市
	福岡支店	福岡県福岡市
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行	

### ● 取締役および監査役 (2015年2月26日現在)

代表取締役社長	岩城 修	
取締役副社長	岩城 慶太郎	常勤監査役 関根 和夫
常務取締役	伊藤 龍雄	常勤監査役 山口 誠
常務取締役	藤田 久	監査役 吉田 孝
常務取締役	大森 伸二	監査役 守山 淳
取締役	鈴木 俊男	
取締役	藤原 弘	
取締役	熱海 正昭	
取締役	鈴木 陽一	
取締役	越智 大藏	

## 株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話：0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.iwaki-kk.co.jp/">http://www.iwaki-kk.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



イワキ

皆様方からのアクセスを  
お待ちしております! <http://www.iwaki-kk.co.jp/>

当社のWebサイトでは、事業内容やIR情報など様々な情報をご覧いただけます。

## 株式に関するお手続きについて

### 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
▶特別口座から一般口座への振替請求 ▶単元未満株式の買取(買増)請求 ▶住所・氏名等のご変更 ▶特別口座の残高照会 ▶配当金の受領方法の指定*	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話：0120-232-711 (通話料無料)
▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ▶支払期間経過後の配当金に関するご照会 ▶株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	<b>手続き書類のご請求方法</b> ●音声自動応答電話によるご請求 電話：0120-244-479 (通話料無料) ●インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

\*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選べない場合があります。

### 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ▶支払期間経過後の配当金に関するご照会 ▶株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話：0120-232-711 (通話料無料)
▶上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

## 株主様アンケート

### 株主の皆様へアンケートのお願い

当社では、株主の皆様の声の伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくと考えております。お手数をおかけしますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

(キリトリ)

【株主の皆様へのアンケート】該当するものを○で囲んでください。

Q1. 当社の株式を保有された理由は何ですか？

- ① 安定配当    ② 株価    ③ 事業内容  
 ④ 経営理念    ⑤ 収益性    ⑥ 将来性  
 ⑦ 財務内容    ⑧ 証券会社の勧め    ⑨ 相続  
 ⑩ その他( )

Q2. 当社の株式の保有期間はどのくらいですか？

- ① 1年未満    ② 1年～3年未満    ③ 3年～5年未満  
 ④ 5年～10年未満    ⑤ 10年以上

Q3. 当社に関する情報収集の手段は具体的に何ですか？

- ① 証券会社    ② 四季報    ③ 日経会社情報  
 ④ 新聞・雑誌記事(媒体名: )  
 ⑤ 当社ホームページ  
 ⑥ インターネット情報(サイト名: )  
 ⑦ その他( )

Q4. 「株主の皆様へ」(報告書)について、ご感想をお聞かせください。

Q5. 当社に対し今後期待されることは何ですか？

Q6. その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。



# 株主の皆様へアンケートのお願い

郵便はがき

料 金 受 取 人 払 郵 便

1 0 3 - 8 7 9 0

9 2 7

日本橋局  
承 認

7739

差出有効期間  
平成27年5月  
31日まで

東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号

イワキ株式会社 人事総務部 行

切手不要



該当する□内に✓(チェックマーク)をおつけください。

年 齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
ご 職 業	<input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員・団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 専門職(医者・弁護士等) <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 主婦・パート <input type="checkbox"/> 無職・年金生活者 <input type="checkbox"/> その他( )
お住まいの 地 域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州・沖縄 <input type="checkbox"/> その他地方

※ 本アンケートにご記入頂きました内容は統計的に集計し、第三者に開示することはいたしません。

## 株式情報

### ● 株式の状況

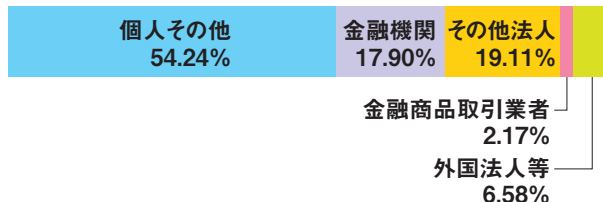
発行可能株式総数	136,000,000株
発行済株式の総数(自己株式378,227株を含む)	34,147,737株
株主数	5,428名

### 大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治通商株式会社	2,007	5.94
有限会社ケーアイ社	1,764	5.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,188	3.52
岩城 修	970	2.87
イワキ従業員持株会	819	2.42
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	814	2.41
遠藤 四郎	700	2.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	679	2.01
ダイソー株式会社	658	1.94
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	580	1.71

(注)持株比率は自己株式(378,227株)を控除して計算しております。

### ● 株式分布状況(所有者別分布状況)



(注)持株比率は自己株式(378,227株)を控除して計算しております。



〒103-8403

東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号

イワキ株式会社 電話：03-3279-0481



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。